学校番号	１０９

令和２年度　音楽

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	CONCONE 50 番（全音楽譜出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ソルフェージュは歌唱することにしっかり取り組むことで、正しい音程、リズム、曲の特性をつかむ力が養われます。新曲視唱や聴音、楽典なども織り交ぜて行うことで、音楽の総合的な力が養われます。毎日少しずつ繰り返し勉強することが重要です。

2　学習の到達目標

様々な要素に留意して歌唱することで、表現の質を上げることができる。正しい音程、リズムだけではなく、音楽にとって重要な感情もCONCONE 50番を用いることで学ぶ。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取組もうとする。歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察	観察 発表	演奏の聴取 発表	楽譜への書き込み 発表感想文

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	コンコーネ・聴音	コンコーネ 3 番から 12 番を歌唱する。 1 人 1 曲選び、発表する。 聴音に取り組む。	○	○	○	○	a:意欲的に歌唱や聴音の活動に取り組んでいる。 b:曲想を捕らえて表現を工夫している。 c:表現のために必要な技能を修得している d:練習や発表で他人の演奏をよく聴き、適切な評価ができている	観察 発表 感想発表
1学期後半	コンコーネ・聴音	コンコーネ 13 番から 25 番を歌唱する。 1 人 1 曲選び、発表する。 聴音に取り組む。	○	○	○	○	a:意欲的に歌唱や聴音の活動に取り組んでいる。 b:曲想を捕らえて表現を工夫している。 c:表現のために必要な技能を修得している d:練習や発表で他人の演奏をよく聴き、適切な評価ができている	観察 発表 感想発表
2学期前半	コンコーネ・聴音	コンコーネ 26 番から 35 番を歌唱する。 1 人 1 曲選び、発表する。 聴音に取り組む。	○	○	○	○	a:意欲的に歌唱や聴音の活動に取り組んでいる。 b:曲想を捕らえて表現を工夫している。 c:表現のために必要な技能を修得している d:練習や発表で他人の演奏をよく聴き、適切な評価ができている	観察 発表 感想発表
2学期後半	コンコーネ・聴音	コンコーネ 36 番から 44 番を歌唱する。 1 人 1 曲選び、発表する。 聴音に取り組む。	○	○	○	○	a:意欲的に歌唱や聴音の活動に取り組んでいる。 b:曲想を捕らえて表現を工夫している。 c:表現のために必要な技能を修得している d:練習や発表で他人の演奏をよく聴き、適切な評価ができている	観察 発表 感想発表

3学期	コンコーネ・聴音	コンコーネ45番から50番を歌唱する。 1人1曲選び、発表する。 聴音に取り組む。	○	○	○	○	a:意欲的に歌唱や聴音の活動に取り組んでいる。 b:曲想を捕らえて表現を工夫している。 c:表現のために必要な技能を修得している d:練習や発表で他人の演奏をよく聴き、適切な評価ができている	観察 発表 感想発表

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a,b,c の３観点で、「鑑賞」の分野は a,d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。